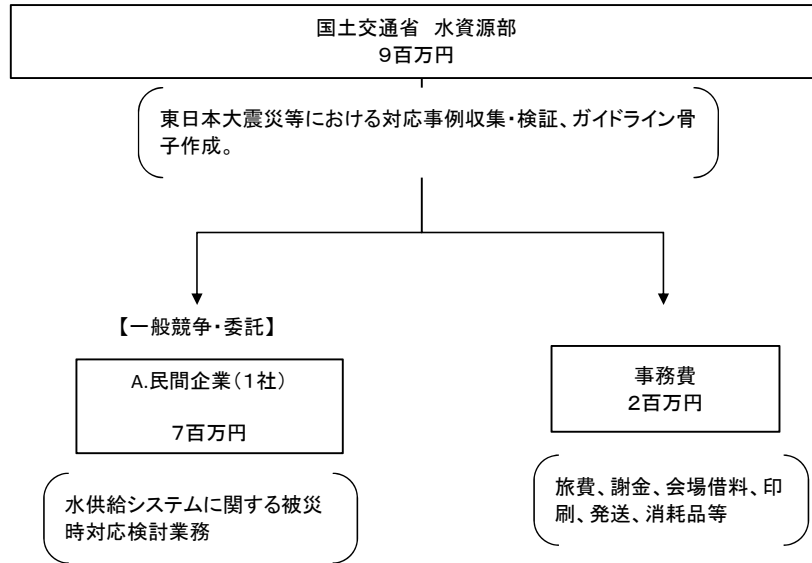


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	水供給システムの安全・安心確保に係る経費		担当部局庁	水管理・国土保全局 水資源部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22～24年度		担当課室	水資源政策課		課長 池本 武広		
会計区分	一般会計		施策名	6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人々の生活や我が国の経済活動に一時も不可欠な水の供給を支える、ダムから取水堰、基幹的水路施設を経てエンドユーザーに至る水供給システムについて、被害が広範囲に及ぶような大規模災害時においても、早急に復旧・対応し円滑に水供給ができるよう危機管理体制を構築し、水利用の安定性を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	農業用水、水道用水、工業用水等、水供給システムの根幹となる大規模多目的施設を有するモデル地区において、地震や洪水などの災害や水質事故等による水供給リスクを把握するとともに、関係者が連携して予防保全措置や危機管理対応を議論・検討することにより、ハード、ソフト両面から危機管理対策を推進する。また、この検討や議論のプロセス等をとりまとめ、危機管理に関するガイドラインとして全国に普及させることで、全国の水供給システムの安全・安心確保に資する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算		14	12	16		
		繰越し等						
		計	0	14	12	16		
	執行額			7	9			
	執行率(%)			53%	78%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	渇水影響度 (渇水による影響を、取水制限率と取水制限日数との積で表したものの)		成果実績	日・%	-	2,255	4,833	5,300 (23年時点の過去5年平均)
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	関係者による危機管理に関する検討会の開催		活動実績 (当初見込み)	地区	-	2 (2)	8 (2)	- ()
単位当たりコスト	1,181(千円/地区)		算出根拠	H23執行額 9,452千円 ÷ H23活動実績(8地区)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	水資源対策調査費	14.3						
	職員旅費	0.7						
	諸謝金	0.4						
	委員等旅費	0.6						
計	16.0							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	東日本大震災の教訓を踏まえ、個々の施設単位ではなく水供給システム全体で考える視点や、流域や地域内での対応が難しい大規模災害に対しては全国規模で支える視点により、早急に復旧や対応ができるような危機管理体制を構築する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約手続きについては、競争性の高い(総合評価落札方式)により相手方を決定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	東日本大震災等における水供給システムの被災状況や応急対応の事例を収集・検証し、水供給システムの危機管理のガイドライン骨子を作成した。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>執行率が78%となったが、経費削減の理由としては、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務委託における請負差額 ・検討会会場として関係機関の事務所を使用できたことによる経費削減 <p>今後とも、効率的・効果的な予算執行を図る余地がないか検討を行う。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	引き続き予算の効率的な使用に努めるとともに、ガイドラインが真に有効なものとなるよう想定される効果をケーススタディ等を通じて検証すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	引き続き公的施設の利用を行うなど効率的な予算執行に努める。また、危機管理に関するガイドラインが十分有効となるよう関係省等からなる検討会を設置し、多様な関係者による広域的かつ具体的なケーススタディや検証を行うほか、広域的な地域における応急支援等に必要となる危機管理体制の構築に向けた検討を実施する。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	188

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.東京海上日動リスクコンサルティング(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
水資源対策調査費	水供給システムに関する被災時対応 検討業務	7			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京海上日動リスクコンサルティング(株)	水供給システムに関する被災時対応検討業務	7	2	82.20%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					